

比較家族史学会

# 会報 比較家族史 47

事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付

郵便振替(会費)00130-4-25222 (年報バックナンバー・その他)00180-3-604964

## 二〇〇六年比較家族史学会秋季研究大会

日時 二〇〇六年十一月十八日(土)

会場 立命館大学敬学館二三〇教室(別掲地図参照)

〒六〇三-八五七七 京都市北区等持院北町五六-一

電話 〇七五-四六五一-一一一(代表)

参加費 一五〇〇円

問合せ先 〒九八〇-一八五二-一 仙台市青葉区土樋一-三-一

東北学院大学文学部 政岡 伸洋

電話 〇二二-七二二-一三三五九(FAX兼用)

Eメール

☆日 程 十一月十八日(土)

(午前一〇時〇〇分受付開始 一〇時三〇分開始)

□会長挨拶 岩本由輝(東北学院大学)

一〇時三〇分～一〇時四〇分

◇報告一 堀内キミ子(城西国際大学大学院)

一〇時四〇分～一一時四〇分

冥王まさ子の文学―沈黙と饒舌―

□事務局からの連絡

□昼食

◇報告二 奥井亜沙子(神戸大学)

一一時四〇分～一二時〇〇分  
一二時〇〇分～一三時二〇分  
一三時二〇分～一四時二〇分

「立身出世」型都市移動と「家」の継承をめぐる  
一考察  
―篠山出身軍学校進学者の事例をもとに―

◇報告三 姜恩和(国立精神・神経センター精神保健研究所)

一四時二〇分～一五時二〇分

植民地支配期における収養子制度の廃止をめぐる考察

◇報告四 嘉本伊都子(京都女子大学)

一五時三〇分～一六時三〇分

再生産労働の国際分業と国際結婚

運営委員 竹内隆夫・政岡伸洋(事務担当)

### ■運営委員会からのお知らせ

一 研究大会の出欠については、同封の葉書にて、十一月七日(火)までにお知らせ下さいますようお願いいたします。なお、大会参加費は一五〇〇円です。会員以外の参加も歓迎します。

二 秋季の大会は一日だけの開催となっております。懇親会はありません。昼食は、同じキャンパス内の末川記念会館内にある「カルム」というレストランが午後二時まで営業していますので、そこをご利用いただければと存じます。

三 研究大会の会場は、本紙の最後に掲載する交通アクセスの地図と会場図をご参照ください。当日、案内を出します

■理事会議事録

日 時 二〇〇六年五月一九日(金)

一八時三〇分

場 所 お茶の水女子大学 生活科学

部本館一階一〇三学部会議室

出席者数 三一名(委任状を含む)

議題

一 新入会員および退会会員の承認についで

松崎瑠美・山内昌和の二名の入会および義江彰夫・櫻井進・大平祐一・五十嵐真子・久武綾子・井上修平の退会が承認された(以上、敬称略)。

二 理事の辞任希望について

栗原弘理事の辞任の希望およびそれに伴う理事の役割分担の変更等について報告があり、了承された。

三 比較家族史研究について

二〇号の進捗状況について、五月中には刊行予定であること、二二号の原稿募集については先日大会案内と一緒に発送済みであることが報告された。また、二一号の文献目録の担当については、牧田勲先生にお願いすることになった。

四 シリーズ比較家族について

『生殖技術と家族Ⅰ』については、まもなく初稿が上がってくる段階で、秋の研究大会までには刊行できる予定であることが報告された。また、現在編集作業中の『生殖技術と家族Ⅱ』『沖繩とジェンダー』『歴史人口学と比較家族史』『家の存続戦略と婚姻(仮)』の進捗状況も報告された。

五 次回以降の研究大会および秋季研究会について

二〇〇六年秋季研究大会は、二〇〇六年十一月一八日(土)に立命館大学にて開催。なお、理事会については、金曜日開催はスケジュール的に難しい状況になってきているので、今回は十一月一九日(日)に行い、今後も秋の理事会については日曜日とすることになった。

また、二〇〇七年第四九回研究大会は神戸大学で開催される予定であること、二〇〇八年度の研究大会は五〇回の記念大会となるので、比較家族史学会の総括的なものをやりたいという意見が出され、今後、二年かけてじっくり準備していくとの方針が出され、承認された。

六 二〇〇五年度決算および会計監査の結果

果、二〇〇六年度予算について

異議なく了承された。

七 その他

1 H P委員会の立ち上げ準備について  
日本学術会議の大幅な組織変更に伴い、本学会が属していた基礎法研連の六学会で独自の連絡会議が作られ、これに伴い法制史学会より連絡会の共同H Pを作ることになったが、ここに比較家族史学会にリンクのページを入れることを了承してほしいという依頼があった。

これについて異議なく了承されたが、今後もこのような案件ができる可能性がある、早急に対応できる組織作りが必要ということで、とりあえず森謙二理事、高木侃理事、事務局の政岡でH P委員会を暫定的に立ち上げ、リンクの希望等、H Pに関わる案件があった場合、まず事務局長へ連絡を取り、事務局長から森・高木両理事へ連絡し、三名で検討したうえで会長と相談し、対応することになった。そして、次回の理事会からH P管理委員会を立ち上げることになった。

ので、それにしたがっておいでください。

#### 四 報告者の方へ

1 報告時間は四〇分、質疑応答は二〇分です。円滑な進行のため、時間厳守をお願いいたします。

2 レジューメは、十一月一日(必着)までに、上記の問い合わせ先(東北学院大学文学部政岡伸洋宛)までEメールによる添付ファイルもしくは郵送(FAX不可)にて送っていただければ、当方で用意します。未着の場合には、恐縮ですが、ご自分でご用意ください。必要な部数は、後日連絡させていただきます。

#### 五 宿泊をご予定の方へ

先口ご案内しましたとおり、この時期の京都は観光シーズンのため、宿泊施設のほとんどは満室のようです。ただ、大津・大阪・奈良等周辺部ではまだ空室もあるようですので、そちらの方もご確認いただければと存じます。

六 事務担当者が前日に京都へ移動します。つきましては、問い合わせは十一月一六日(木)までをお願いします。万一、前日の場合はEメールでお願いできれば幸いです。

### ■事務局からの連絡

#### 一 会費納入のお願いと連絡

年会費は、個人会員は三〇〇〇円です。今回は会費未納分のある方に振込用紙を同封しております。住所ラベルの右下の既納年度(平成一八年一〇月一六日現在)が更新してありますが、同日以降の振込み、および行き違いの節はご宥怒ください。また、学校法人名で振り込まれるときは、必ず通信欄に会員氏名をお書きください。

#### 二 学会関連書籍の購入について

これまでもたびたびお願い申し上げましたが、現下の出版状況から、特に会員および会員の所属各大学図書館での学会関連書籍購入方につき、特段のご協力をお願いいたします。

『シリーズ比較家族』は早稲田大学出版部、『事典家族』は弘文堂、『家族―世紀を超えて』は日本経済評論社にご注文ください。ほかの書籍を含めて二割引で購入できます。なお、その際には、必ず比較家族史学会の会員であることをお申し出ください。

早稲田大学出版部(担当 新井)

電話 03-3203-1551

FAX 03-3207-0406

弘文堂(担当 浦辻)

電話 03-3294-7003

FAX 03-3294-7034

日本経済評論社(担当 谷川)

電話 03-3230-1661

FAX 03-3265-2993

三 『比較家族史研究』バックナンバーについて

『比較家族史研究』の既刊分の総目次はHPに掲載予定ですが、既刊分一三号までは一冊五〇〇円に値下げして販売しております。在庫処分にご協力ください。なお、創刊号から四号までは在庫がありません。購入希望の方は、学会事務局へご連絡ください。

#### 四 事務局連絡先

〒九八〇-八五二 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目三一 東北学院大学文学部  
政岡伸洋研究室 比較家族史学会  
電話 022-721-3359  
(FAX兼用)

E-mail

## 2 出産・育児による研究中断者への復

婦支援フェローシップについて

特別研究員制度について、出産・育児

等による研究中断後に研究現場に復帰する環境を整備するため、研究奨励金を一定期間支給し、研究活動再開を支援する特別研究員—RPDが二〇〇六

年度から創設されたので、その募集等の情報を会員に周知することになった。

3 連絡先不明会員への対応

連絡先不明者については、会報での周知の後、それでも見つからない場合は一三条適用により退会手続きをとることが承認された。

## 3

## 3 連絡先不明会員への対応

連絡先不明者については、会報での周知の後、それでも見つからない場合は一三条適用により退会手続きをとることが承認された。

二〇〇七年度第四九回研究会の日程および会場については、また二〇〇八年度の研究会大会は五〇回の記念大会となるので、比較家族史学会の総括的な企画を検討している点についても報告され、了承された。

六 二〇〇五年度決算および会計監査の結果、二〇〇六年度予算について

異議なく了承された。

## ■総会議事録

## 一 新入会員および退会会員の承認について

## 二

二名の入会および六名の退会が了承された。

## 二

理事の辞任希望について

栗原弘理事の辞任およびそれに伴う理事の役割分担の変更等について報告があり、了承された。

## 三 比較家族史研究について

二〇号の進捗状況および二一号の原稿募集についての報告が行われた。

四 シリーズ比較家族について

各巻の進捗状況が報告された。

五 次回以降の研究会および秋季研究会について

二〇〇六年秋季研究会および二〇〇七年度第四九回研究会の日程および会場については、また二〇〇八年度の研究会大会は五〇回の記念大会となるので、比較家族史学会の総括的な企画を検討している点についても報告され、了承された。

六 二〇〇五年度決算および会計監査の結果、二〇〇六年度予算について

異議なく了承された。

七 その他

HP委員会の立ち上げ準備、出産・育児による研究中断者への復帰支援フェローシップ、連絡先不明会員への対応について報告があり、了承された。

八 二〇〇六年度予算について

異議なく了承された。

九 その他

HP委員会の立ち上げ準備、出産・育児による研究中断者への復帰支援フェローシップ、連絡先不明会員への対応について報告があり、了承された。

二〇〇六年度予算について

異議なく了承された。

その他

HP委員会の立ち上げ準備、出産・育児による研究中断者への復帰支援フェローシップ、連絡先不明会員への対応について報告があり、了承された。

二〇〇六年度予算について

異議なく了承された。

その他

HP委員会の立ち上げ準備、出産・育児による研究中断者への復帰支援フェローシップ、連絡先不明会員への対応について報告があり、了承された。

二〇〇六年度予算について

異議なく了承された。

## ■新入会員

松崎 瑠美(東北大学大学院生、日本史)

山内 昌和(国立社会保障・人口問題研究所研究員、人口学・地理学)

■会員著書・受贈著書

(単行本・事務局に連絡があったもの)

落合恵美子『徳川日本のライフコース歴

史人口学との対話』ミネルヴァ書房、

二〇〇六年、五五〇〇円(税別)。

■訃報

去る七月三日に大竹秀男先生が、七月二

日には有地亨先生が相次いでご逝去されました。大竹先生は本学会第二代会長をお勤めに

なられ、一〇周年記念事業に際してはたいへんなご尽力を賜り、本会の発展に大きく寄与

されました。また、有地先生は、本学会立ち

上げの際の発起人のお一人として、学会発展

のために中心にご活躍いただきました。こ

のような偉大な先生方を相次いで失ったこと

は、誠に残念であり、心よりご冥福をお祈り

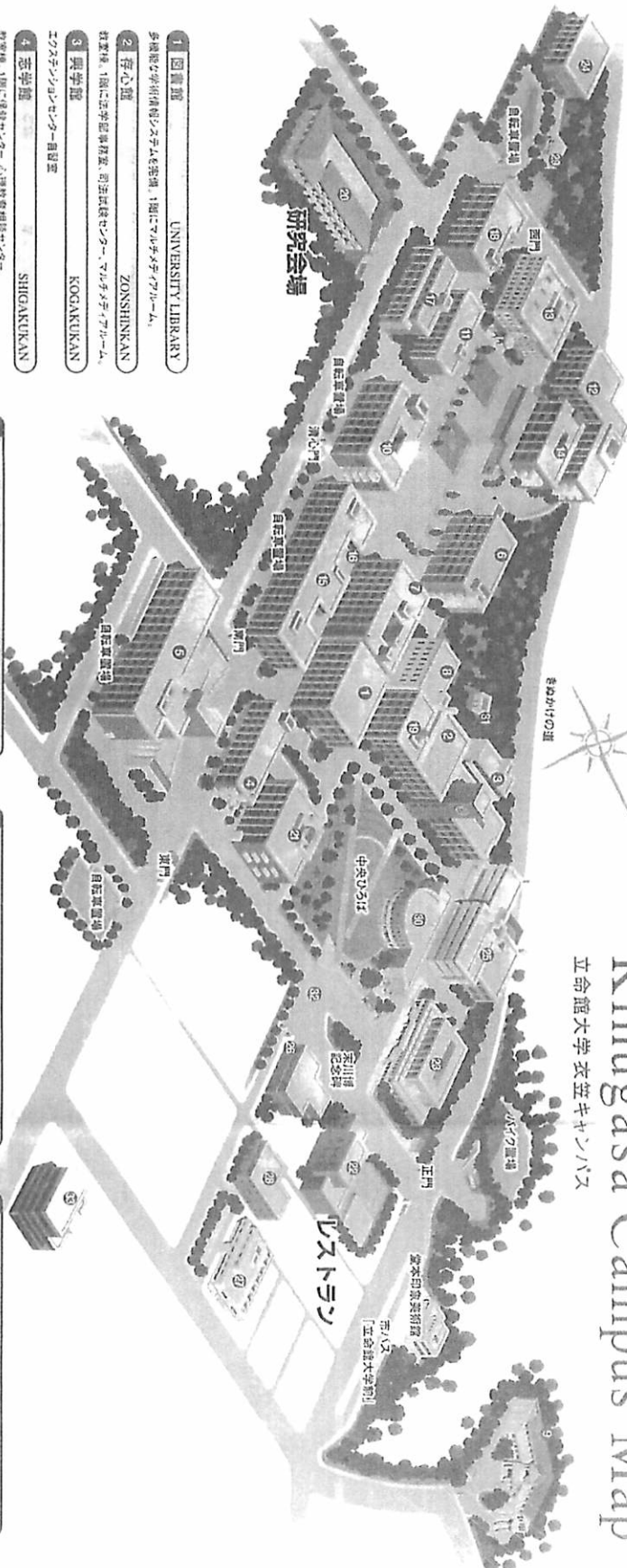
するとともに、学会としても「比較家族史研

究」の次号を追悼号といたく、予定してありま

すことを、会員の皆様方にご報告いたします。

RITS

Ritsumeikan University  
Kinugasa Campus Map  
立命館大学衣笠キャンパス



- 1 図書館 UNIVERSITY LIBRARY  
多機能な学術情報システムを構築。1階にマルチメディアルーム。
- 2 存心館 ZONSHINKAN  
数寄屋。1階に正学館講義室、司法研修センター、マルチメディアルーム。
- 3 異学館 KOGAKUKAN  
エクスナショナルセンター直営室
- 4 志学館 SHIOGAKUKAN  
数寄屋。1階に読書センター、心理教育相談センター。
- 5 以学館 IGAKUKAN  
数寄屋。主に農業社会学部の数室。1階に農業社会学部事務室、ボランティアセンター。2階に食堂、多目的ホールなど。
- 6 研心館 KENSHINKAN  
数寄屋。1階に生体分子工学、エクスナショナルセンター。2階に学生フリースペース、強化センター、学生サークルーム。3階に共通教務棟。
- 7 学術館 GAKUJIKAN  
大学施設、大学校舎など。
- 8 有心館 YUSHINKAN  
数寄屋。1階に情報システム課。
- 9 西園寺記念館 SAIONJI MEMORIAL HALL  
主に法政研究(法科大学院)の数室。1階に法科大学院事務室。
- 10 清心館 SEISHINKAN  
主に文学部の数室、共同研究室。1階に文学部事務室。

- 11 啓明館 KEIMEIKAN  
数寄屋。主に文学部の学生共同研究室、実験研究室。
- 12 洋学館 YOYOKAN  
主に国際科学部の数室、研究室。1階に国際科学部事務室、マルチメディアルーム。
- 13 信心館 KOSHINKAN  
主に国際関係学部の数室。1階に国際関係学部事務室。
- 14 探文館 RYOYUKAN  
数寄屋。1階、2階に実業。
- 15 探学館 SHUGAKUKAN  
個人研究室棟。1階に研究会議室。2階に人文社会リサーチオフィス。
- 16 ランゲージセンター LANGUAGE CENTER  
1階に言語教育センター、言語習得センター(CLA)、言語教育企業課。
- 17 尽心館 JINSHINKAN  
個人研究室棟。4階にマルチメディアルーム。

- 18 明学館 MEIGAKUKAN  
数寄屋。1階に学生団体センター、京都府道新委託運営など。
- 19 尚学館 SHOGAKUKAN  
個人研究室棟。1階に教務支援センター。
- 20 数教館 KEIGAKUKAN  
数寄屋
- 21 中央会館 NAKAGAWA HALL/CENTRAL ADMINISTRATION BUILDING  
本部棟。1階にキャンパス・ネットワークセンター、庶務課。1階-3階に教務部、学務部、総務部、役員室など。4階は収容、父母室。
- 22 栄川記念館 SUKAWA MEMORIAL HALL  
数寄屋。栄川各専科長のアトリウム、ホール。総務部長多ホール階層法廷会議室、百年祭開演堂、地階に「スカム」。
- 23 第1体育館 GYMNASIUM 1  
1階に入学センター、レミニウム、各部道場など。
- 24 第2体育館 GYMNASIUM 2  
競技棟、ホール数室。

- 25 学生会館 STUDENT UNION  
学生団結、サークルボウリング、観音ホール、小ホール。
- 26 アートリサーチセンター ART RESEARCH CENTER
- 27 アカデミック立命21 ACADEMIA RITSUMEI 21  
国際学生センター。1階に国際学生センター資料室、中野記念ホール。2階に立命館女子学院。2階から4階に学生センター。
- 28 歴史都市防災研究センター HISTORICAL CENTER FOR DISASTER MITIGATION OF JEAN CULTURAL HERITAGE  
展示ルーム、研究室。
- 29 いいの広場研究棟
- 30 創業館(ヒューマンリサーチセンター) SOSHIKAN  
研究棟。1階にカンパニウム。第二研究科事務室。
- 31 アトリウム ATRIUM
- 32 由来の碑 PROVENANCE MONUMENT
- 33 狭小レオナック CREOTECH CO.,LTD

交通アクセス



立命館大学 衣笠キャンパス  
Ritsumeikan University Kinugasa Campus

立命館大学 衣笠キャンパスへの主な交通機関

鉄道をご利用の場合

- JR・近鉄京都駅
  - 市バス⑨(環状線)にて約35分、「立命館大学前(終点)」下車
  - 市バス⑬(環状線)にて約35分、「衣笠駅前」下車、徒歩10分
  - 市バス⑭(環状線)にて約10分、「立命館大学前(終点)」下車
  - 市バス⑮(環状線)にて約10分、「衣笠駅前」下車、徒歩10分
  - 市バス⑯(環状線)にて約20分、「立命館大学前(終点)」下車
  - 市バス⑰(環状線)にて約20分、「衣笠駅前」下車、徒歩10分
- JR丹波駅
  - 市バス⑱(環状線)にて約40分、「立命館大学前(終点)」下車
  - 市バス⑲(環状線)にて約30分、⑳は終点「立命館大学前」下車
  - 徒歩10分
- 阪急電車河原町駅(徒歩約10分)
  - 市バス⑳(環状線)にて約40分、「立命館大学前(終点)」下車
  - 市バス㉑(環状線)にて約30分、㉒は終点「立命館大学前」下車
  - 徒歩10分
- 京阪電車三条駅
  - 徒歩10分
- 京福電車等持院駅
  - 徒歩10分

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1  
TEL: 075-465-1111 (代表)  
<http://www.ritsumeit.ac.jp/>

